

令和3年度 第1回釜石市立平田公民館運営審議会 結果

1 日 時 令和3年5月19日（水）午後2時～午後3時30分

2 場 所 平田集会所 2階 大会議室

3 出席委員 6名
佐藤雅彦委員、鈴木房子委員、小松美香委員、浅田俊子委員、
佐々木淳子委員、福田博委員

4 欠席委員 1名
鈴木崇委員

5 事務局等 3名
まちづくり課：平野敏也課長、佐々木薰主幹
平田公民館：小笠原達也館長

6 傍聴者 なし

7 経 過
(1) 開会
小笠原館長が定足数を満たしていることを告げ、会議の開会を宣言した。

(2) まちづくり課長挨拶

昨年度まで平田公民館長を務めたことから事業内容は了知しているが、平田公民館は幅広く色々な事業に取り組んでいると実感している。

今後については、小学校と共同で取り組む事業など実施できればよりよいのではないか。
本審議会の委員としてこども園の園長先生にも入っていただいている。コロナの状況をみながらになるが、こども園ともうまく連携して取り組みができればいいと考えている。昨年度、鈴子公園が完成予定だったことから、三陸鉄道で移動して公園で遊んでお昼を食べるという事業の計画もあったが、公園の完成が遅れて残念ながらかなわなかつたという経過がある。

唐丹町の球場にユニバーサル遊具というものを設置する計画があるようだ。釜石、唐丹公民館、または釜石こども園と合同で何か事業を行うという取り組みも面白いと思う。

新型コロナワクチンを7月中旬に完了するように国から連絡が来ており、担当部署ではそれに向けて取り組んでいる。新しい生活様式を守りながら、コロナを乗り切って、以前のような公民館活動ができるようになることを願っている。

(3) 出席者紹介

小笠原館長が出席委員を紹介した。

(4) 委員長及び副委員長の互選

立候補または推薦を求め、委員長に佐藤雅彦委員を、副委員長に佐々木淳子委員を推薦する声があり異議なく了承された。

（5）協議

小笠原館長から資料に基づき、令和3年度平田公民館運営方針及び事業計画について、説明があり、承認された。協議における委員の発言については以下のとおり。

（6）閉会のことば

小笠原館長が閉会を宣言した。

8 委員の主な発言等

〔意見〕

色々な事業に取り組んでいることに感心させられる。公民館の活動は健康に直結するものも多い、また生きがい対策にもなっている。大事にしていきたい。

〔意見〕

コロナ以前には三陸鉄道平田駅のクリーンアップ活動に参加させてもらったことがある。コロナがなければ、これまでの小正月行事やその他にも積極的に参加して、地域の方と交流していきたいという気持ちはある。

〔意見〕

コロナ以前、七夕の時に公民館事業で子ども達の虎舞をみせてもらった。とても楽しかった。また、そば作り等の飲食関連の事業も行いたいところだが、それにもコロナが関係してくれる。対策を立てたうえで取り組む必要がある。

〔意見〕

公民館活動は住民の心のよりどころになっている。昔は民生委員が三陸鉄道の駅の掃除を行ったことがある。こども園のこども達と地域の人が一緒に取り組めるものがあればいいことだと思う。